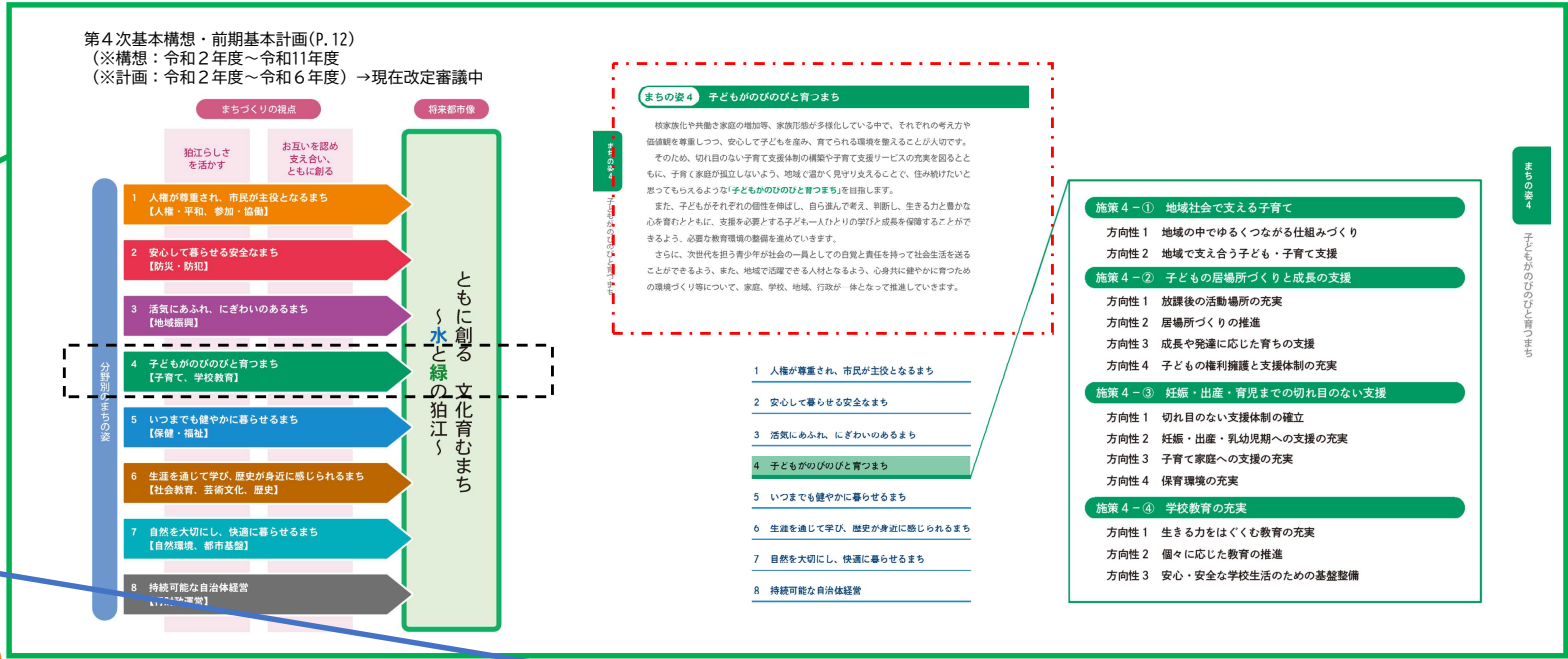
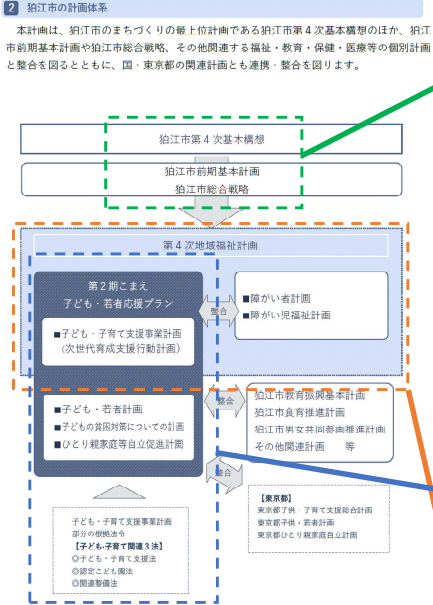


現計画体系図
(第2期子ども・若者応援プランP.3)



第2章 基本理念

全ての市民が、生涯にわたり個人として尊重され、支え合って、誰もが排除されない地域社会の実現を目指します。

基本理念とは、「基本的価値観」のもと、導き出す「目的」を示すものです。

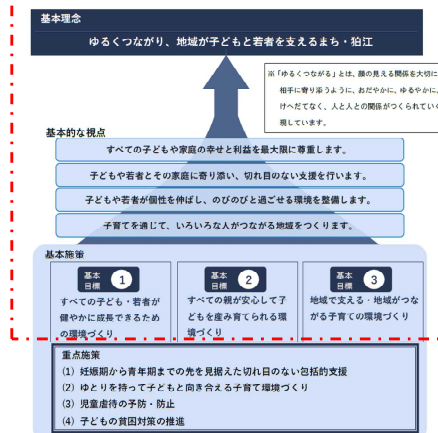
本計画では、「全ての市民が、生涯にわたり個人として尊重されること」と及び「全ての市民が支え合うこと」この2つの「基本的価値観」のもと、「誰もが排除されない地域社会の実現」という「目的」の達成を目指します。この「目的」は、高齢者人口及び高齢化率のいずれも令和32(2050)年にピークを迎えることが推計されることを踏まえ、令和22(2040)年までに達成すべき長期的なビジョンとして掲げるものです。

- 1 基本的価値観
- (1) 「全ての市民が、生涯にわたり個人として尊重されること」
- 全ての市民がどのような状況に置かれたとしても、個人として尊重されることは、条例第3条第1項の規定により掲げる市民福祉の基本理念であり、認知症施策、障がい者施策、権利擁護支援施策等様々な施策を推進するに当たり、共通する基本的価値観です。
- (2) 「全ての市民が支え合うこと」
- かつては、地域の相互扶助、家族同士の助け合い等の支え合いの機能が存在しましたが、少子高齢化の進展や家族形態の変化等により、支え合いの基盤が弱まりました。このような状況を踏まえ、市は、福祉及び保健関係部署のみならず、全ての部署が一体となり、市民及び事業者とともにそれぞれの役割を果たしながら、地域福祉の推進のため、包括的な支援体制の構築を進めるとともに、相互に支え合うことを通じて、多様性を認め合い、安心して暮らせるまちづくりを進めていく必要があります。

1 基本理念

基本理念とは、この計画の推進を通じて実現を目指す将来のまちの姿であり、この計画における最終目標となるものです。

本計画では、地域において誰もがそれぞれの「自分らしさ」や多様性を認めあい、尊重されながら、すべての子ども・若者が健やかに成長していくとともに、様々な世代の人々や支援機関が顔の見える関係でつながること、子ども・若者や子育て家庭を支援する地域を目指し、「ゆるくつながり、地域が子どもと若者を支えるまち・狛江」を基本理念とします。



《論点例》

- ・子ども(子育て)や若者にとって、将来の狛江市の目指すべき姿について
- ・将来、狛江市がどのようなまちになっていくべきか